

## 伊豆御蔵島のハネカクシ相

The Staphylinid-fauna of Mikura-jima Island in the Izu Islands, Japan

渡辺泰明

〒194-0043 東京都町田市成瀬台 2-26-33

### 緒言

御蔵島が属する伊豆諸島は富士火山系の火山島群である。これらの島々は南西方面から東へ流れる黒潮海流の影響を受けて高温多雨の海洋性気候を呈し、緯度の割には温暖な気候を呈していることが古くから知られている。それと共に温暖な地域に生息している東洋区系昆虫類、とりわけ穿材性甲虫類が、これらの島々にどの様に分布しているかについて古くから大きな関心が寄せられ興味ある報告がなされてきた（小西, 1951; 小西・梅谷, 1954; 梅谷, 1954, 1961）。これらの報告はいずれも黒潮海流が伊豆諸島の穿材性甲虫類の分布に関与していることを報告しているが、とりわけ梅谷はクワガタムシおよびカミキリムシ等の分布が三宅島と八丈島間を横断している黒瀬川と呼ばれる黒潮主流の影響によることを指摘している。このような背景の中で、一躍御蔵島の昆虫相が注目される様になったのは1959年に実施された「伊豆諸島文化財総合調査」の際に同島からそれ迄世界中から未知のクワガタムシが発見され、*Lucanus gamunus* ミクラミヤマクワガタと命名・発表されたことによる（Sawada & Watanabe, 1960）。このことが大きな契機となって、その後多くの昆虫研究者や愛好者が御蔵島に渡島して同島の昆虫相、とりわけ穿材性甲虫類の調査が続けられてきた。最近、楨原ら（2015）は海流分散種と考えられているオガサワラチャイロカミキリの幼虫を海水に近い塩水（塩分 0.35%）に浸漬し、それらの生存に関する実験結果を報告している。それによれば、材中の幼虫は1カ月間この塩水に浸漬しても大部分の個体が死亡しないことが確かめられた。この様に海流による穿材性甲虫の分布の可能性が指摘されている一方、同島にはいわゆる北方系種あるいは山地性種と呼ばれている種の存在が指摘されているが（澤田・渡辺, 1969）、ハネカクシ科甲虫類にもそのような種が見られ、また近年になって他の伊豆諸島からは未記録の種が発見されている。そこで、この機会にこれ迄同島から記録された

ハネカクシ科甲虫類の目録を作成すると共に、同島ハネカクシ相に関して若干の知見を加え諸賢の参考に供し、今後同島ハネカクシ相の一層の解明に資することを期待したい。

### 御蔵島産ハネカクシ科目録

御蔵島産ハネカクシ科甲虫に関しては、Watanabe (1961) による 23 種 (内 1 種は同定疑問種) の記録が最も古いものと思われる。その後、Watanabe (1962), 澤田・渡辺 (1969), 渡辺・長谷川 (1983), Watanabe (2000), Nomura & Komatsu (2012), Nomura, Kamezawa & Arai (2013) 等によって新たに未記録種が追加報告されている。従って、これらの報告された種を加えると現在迄に御蔵島からのハネカクシは 56 種 (内 1 種は種名保留) が分布していることになる。これらを柴田・丸山 (編) (2013) による「日本産ハネカクシ科総目録 (昆虫綱: 甲虫目)」に準じて下記目録に示したが、種名保留の 1 種は省いた。なお、目録中種名の下段には記録された採集地名、記録者名および記録年代を示したが、記録された時の学名あるいは和名が本目録に用いた学名あるいは和名と異なる場合には、記録年代に続いて記録時の学名あるいは和名を記した。

### Family Staphylinidae ハネカクシ科

#### Subfamily Omaliinae MacLeay ヨツメハネカクシ亜科

1. *Eusphalerum (Eusphalerum) kojimai* Y. Watanabe コジマヨツメハナムグリハネカクシ  
記録産地: Otome-tôge~Kurosakitakao (Watanabe, 2015).  
分布地: 伊豆諸島 (御蔵島).
2. *Eusphalerum (Eusphalerum) mikurajimaense* Y. Watanabe ミクラジマハナムグリヨツメハネカクシ  
記録産地: Obannoo, Otome-tôge~Kurosakitakao (Watanabe, 2015).  
分布地: 伊豆諸島 (御蔵島).
3. *Geodromicus harmani* (Y. Watanabe) ハーマンミズギワヨツメハネカクシ  
記録産地: Sato: Mikurajima-Ohashi (Y. Watanabe, 2000: *Psephidonus harmani*).  
分布地: 北海道, 本州, 伊豆諸島 (御蔵島), 四国, 九州; 韓国.
4. *Nipponophloeostiba verrucifera* Y. Watanabe チビヒラタヨツメハネカクシ  
記録産地: Sato, Kawada (Watanabe, 1962); 澤田・渡辺 (1969).  
分布地: 伊豆諸島 (三宅島, 御蔵島, 八丈島), 屋久島, 西表島.

Subfamily Pselaphinae Latreille アリヅカムシ亜科

5. *Batriscenellus (Batriscenellus) fallax* (Sharp) ヒメハラクボアリヅカムシ  
記録産地：Mt. Oyama, Sato (Nomura, Kamezawa & Arai, 2013).  
分布地：北海道，本州，伊豆諸島（三宅島，御蔵島）.
6. *Trissemus alienus* (Sharp) ナミエンマアリヅカムシ  
記録産地：Mt. Oyama（澤田・渡辺，1969；Nomura, Kamezawa & Arai, 2013）.  
分布地：本州，伊豆諸島（三宅島，御蔵島），四国，九州，平戸；北朝鮮，ロシア.
7. *Tychus dichotomus* Nomura et Lee タイリクモリアリヅカムシ  
記録産地：Mt. Oyama (Nomura, Kamezawa & Arai, 2013).  
分布地：国後島，北海道，本州，伊豆諸島（御蔵島），九州，対馬；韓国.
8. *Ctenisodes discedens* (Sharp) ホソクシヒゲアリヅカムシ  
記録産地：Sato (Nomura, Kamezawa & Arai, 2013).  
分布地：本州，粟島，佐渡ヶ島，伊豆諸島（御蔵島），九州，対馬.
9. *Diartiger toshioi* Nomura et Komatsu ミクラヤマトヒゲブトアリヅカムシ  
記録産地：Borozawa, Mt. Oyama (Nomura & Komatsu, 2012 : *Diartiger fossulatus toshioi*) ; Sato (Nomura, Kamezawa & Arai, 2013).  
分布地：伊豆諸島（御蔵島）.
10. *Diartiger fossulatus izuinsulicola* Nomura コヤマトヒゲブトアリヅカムシ  
記録産地：Sato~Kawada (Nomura, Kamezawa & Arai, 2013).  
分布地：伊豆諸島（神津島，御蔵島）.

Subfamily Tachyporinae MacLeay シリホソハネカクシ亜科

11. *Coproporus scitulus* (Weise) クロチビマルクビハネカクシ  
記録産地：Kawada (Watanabe, 1961; *Erchomus scitulus* Weise) ; Kawada, near Akazawa, near Miyogaike（澤田・渡辺，1969 : *Erchomus scitulus* Weise）.  
分布地：伊豆諸島（三宅島，御蔵島，八丈島），四国，九州；中国，ロシア（極東）.
12. *Sepedophilus armatus* (Sharp) クロゲヒメキノコハネカクシ  
記録産地：Sato, Kawada (Watanabe, 1961; *Conosoma armatum* Sharp) ; Sato, Kawada（澤田・渡辺，1969 : *Conosoma armatum* Sharp）.  
分布地：北海道，本州，伊豆諸島（三宅島，御蔵島，八丈島），四国，九州，屋久島，種子島，沖永良部島；中国.
13. *Sepedophilus germanus* (Sharp) ムクゲヒメキノコハネカクシ  
記録産地：near Kawada (渡辺・長谷川，1983).

分布地：北海道，本州，伊豆諸島（大島，御蔵島），淡路島，隠岐，四国，九州，下甌島，屋久島；中国.

14. *Sepedophilus kobensis* (Cameron) カタモンヒメキノコハネカクシ

記録産地：Kawada (Watanabe, 1961).

分布地：本州，伊豆諸島（三宅島，御蔵島）.

15. *Sepedophilus pumilus* (Sharp) ハスモンヒメキノコハネカクシ

記録産地：Kawada, near Akazawa (澤田・渡辺, 1969).

分布地：北海道，本州，伊豆諸島（御蔵島，八丈島），四国，九州，下甌島，種子島，屋久島，奄美大島.

16. *Sepedophilus tristiculus* (Weise) ツヤヒメキノコハネカクシ

記録産地：Kawada (Watanabe, 1961: *Conosoma tristiculum* Sharp) ; Kawada, near Akazawa (澤田・渡辺, 1969).

分布地：本州，伊豆諸島（三宅島，御蔵島），四国；ロシア（シベリア，極東）.

17. *Sepedophilus varicornis* (Sharp) クロヒメキノコハネカクシ

記録産地：Kawada (Watanabe, 1961: *Conosoma vasicorne* Sharp) ; Kawada, near Akazawa (澤田・渡辺, 1969).

分布地：北海道，本州，伊豆諸島（三宅島，御蔵島），隠岐，四国，九州，下甌島，屋久島，奄美大島；韓国，中国.

18. *Tachinus (Tachinoderus) diminutus* Sharp コクロマルクビハネカクシ

記録産地：Kawada, near Miyogaike (澤田・渡辺, 1969).

分布地：本州，伊豆諸島（御蔵島），四国，九州.

19. *Tachinus (Tachinus) mimulus* Sharp キベリマルクビハネカクシ

記録産地：Kawada (Watanabe, 1961) ; Sato, Kawada, Mt. Oyama, near Miyogaike (澤田・渡辺, 1961).

分布地：北海道，本州，伊豆諸島（御蔵島），佐渡ヶ島，四国，九州.

Subfamily Aleocharinae Fleming ヒゲブトハネカクシ亜科

20. *Myrmecocephalus japonicus* Bernhauer ウスチャセミゾハネカクシ

記録産地：Kawada (澤田・渡辺, 1969).

分布地：北海道，本州，伊豆諸島（御蔵島），四国，九州.

21. *Aleochara (Aleochara) parens* Sharp コクロヒゲブトハネカクシ

記録産地：Kawada (Watanabe, 1961) ; Sato, Kawada, near Miyogaike (澤田・渡辺, 1969).

分布地：北海道，本州，伊豆諸島（三宅島，御蔵島），北硫黄島，四国，九州，屋久島；韓国，北朝鮮，中国.

Subfamily Scaphidiinae Latreille デオキノコムシ亜科

22. *Scaphisoma haemaorrhoidale* Reitter ツヤケシデオキノコムシ  
記録産地：Kawada, near Akazawa (澤田・渡辺, 1969).  
分布地：本州, 伊豆諸島 (三宅島, 御蔵島), 四国, 九州, 対馬; 北朝鮮, 中国, ロシア (シベリア).
23. *Scaphisoma galloisi* Achard ガロアケシデオキノコムシ  
記録産地：near Miyogaike (澤田・渡辺, 1969; *Scaphisoma harmandi* Achard).  
分布地：本州, 伊豆諸島 (御蔵島), 四国, 対馬.
24. *Scaphisoma rufum* Achard アカケシデオキノコムシ  
記録産地：Kawada (澤田・渡辺, 1969).  
分布地：北海道, 本州, 伊豆諸島 (御蔵島), 四国, 九州, 対馬, 奄美大島, 沖縄本島, 石垣島, 西表島; 韓国, 中国.
25. *Scaphobaeocera japonica* (Reitter) トビイロホテイケシデオキノコムシ  
記録産地：Kawada (澤田・渡辺, 1969; *Toxidium japonicum* Reitter トビイロホソデオキノコムシ).  
分布地：本州, 伊豆諸島 (御蔵島), 九州.  
注：上記の学名に関しては保科英人博士のご教示に基づいて記録した。但し, 1981年にLöblによって本種に近似の数種が記載・発表されているので, これらの種との比較検討によって種名を確定する必要があるとの指摘を受けた。ここでは一応1969年に記録された種小名を引用した。

Subfamily Piestinae Erichson ヒラタハネカクシ亜科

26. *Siagonium gracile* Sharp ホソヒラタハネカクシ  
記録産地：near Kawada (渡辺・長谷川, 1983).  
分布地：北海道, 本州, 伊豆諸島 (御蔵島, 八丈島), 四国, 九州, 屋久島.
27. *Siagonium haroldi* Weise アカモンヒラタハネカクシ  
記録産地：Kawada (澤田・渡辺, 1969; *Siagonium vittatum* Fauvel ヒラタハネカクシ).  
分布地：本州, 伊豆諸島 (三宅島, 御蔵島), 屋久島; 台湾.

Subfamily Osoriinae Erichson ツツハネカクシ亜科

28. *Osorius angustulus* Sharp フトツツハネカクシ  
記録産地：near Miyogaike (澤田・渡辺, 1969).  
分布地：北海道, 本州, 伊豆諸島 (御蔵島), 隠岐, 四国, 九州, 筑前沖ノ島, 種子島, 対馬, 沖永良部島; 韓国.

29. *Osorius taurus* Sharp ツノフトツツハネカクシ  
 記録産地 : Kawada (Watanabe, 1961) ; Kawada, near Miyogaike (澤田・渡辺, 1969).  
 分布地 : 本州, 伊豆諸島 (三宅島, 御蔵島), 四国, 九州, 対馬, 屋久島, 口永良部島 ; 韓国.
30. *Nacaeus longulus* (Sharp) ナガモリツツハネカクシ  
 記録産地 : Kawada (Watanabe, 1961 ; *Lispinus impressicollis* var. *longulus* Sharp) ; Kawada, near Akazawa, near Miyogaike (澤田・渡辺, 1969 : *Lispinus impressicollis longulus* Sharp チビホソハネカクシ).  
 分布地 : 本州, 伊豆諸島 (三宅島, 御蔵島, 八丈島), 隠岐, 四国, 九州, 対馬, 下甕島, 屋久島 ; 韓国, 台湾.
31. *Thoracopholus certatus* Sharp ヤマトホソツツハネカクシ  
 記録産地 : Kawada (Watanabe, 1961) ; Kawada, near Miyogaike (澤田・渡辺, 1969).  
 分布地 : 本州, 伊豆諸島 (御蔵島, 八丈島), 小笠原諸島 (母島), 四国, 九州, 隠岐, 屋久島, トカラ中之島, 奄美大島, 西表島 ; 台湾.

Subfamily Oxytelinae Fleming セスジハネカクシ亜科

32. *Anotylus japonicus* (Cameron) ヒラタセスジハネカクシ  
 記録産地 : Kawada (澤田・渡辺, 1969 ; *Rimba japonica* (Cameron)).  
 分布地 : 本州, 伊豆諸島 (御蔵島), 隠岐, 四国, 下甕島, 種子島.
33. *Anotylus laticornis* (Sharp) ヒメクロセスジハネカクシ  
 記録産地 : Sato, Kawada (Watanabe, 1961 : *Oxytelus (Anotylus) latiusculus* Kraatz ? ; 澤田・渡辺, 1969 : *Oxytelus laticornis* Sharp).  
 分布地 : 本州, 伊豆諸島 (御蔵島, 八丈島), 四国, 九州, 対馬 ; 中国.
34. *Anotylus lewisius* (Sharp) ルイスツヤセスジハネカクシ  
 記録産地 : Sato, Kawada (Watanabe, 1961 : *Oxytelus (Anotylus) lewisius* Sharp ; 澤田・渡辺, 1969 : *Oxytelus lewisius* Sharp).  
 分布地 : 本州, 伊豆諸島 (三宅島, 御蔵島, 八丈島), 四国, 九州, 対馬, 下甕島, 種子島, 屋久島, 奄美大島, 沖縄本島, 伊平屋島 ; 台湾, 中国.
35. *Oxytelus piceus* Linnaeus キバネセスジハネカクシ  
 記録産地 : Sato (澤田・渡辺, 1969).  
 分布地 : 北海道, 本州, 伊豆諸島 (三宅島, 御蔵島, 八丈島), 小笠原諸島 (父島), 四国, 九州, トカラ中之島 ; 韓国, 北朝鮮, 中国, 東洋区, ヨーロッパ, アフリカ.

Subfamily Steninae MacLeay メダカハネカクシ亜科

36. *Stenus macies* Sharp ドウボソメダカハネカクシ

記録産地：Kawada (Watanabe, 1961 ; 澤田・渡辺, 1969).

分布地：北海道, 本州, 伊豆諸島 (三宅島, 御蔵島, 八丈島), 隠岐, 四国, 九州, 対馬, 屋久島 ; 中国.

Subfamily Paederinae Fleming アリガタハネカクシ亜科

37. *Astenus brevipes* (Sharp) ヒメシリグロハネカクシ

記録産地：Sato (Watanabe, 1961 ; 澤田・渡辺, 1969).

分布地：本州, 伊豆諸島 (三宅島, 御蔵島, 青ヶ島), 隠岐, 四国, 九州, 奄美大島, 沖縄本島 ; 韓国.

38. *Homaeotarsus (Hesperobium) japonicus* (Sharp) ヤマトナガエハネカクシ

記録産地：near Miyogaike (澤田・渡辺, 1969 : *Ochtheophilum japonicum* Sharp).

分布地：北海道, 本州, 伊豆諸島 (御蔵島), 九州, 沖縄本島 ; 台湾, 韓国, 北朝鮮.

39. *Lithocharis nigriceps* Kraatz クロズトガリハネカクシ

記録産地：Sato (Watanabe, 1961 : *Lithocharis ochracea* Gravenhorst ; 澤田・渡辺, 1969).

分布地：本州, 伊豆諸島 (三宅島, 御蔵島, 八丈島), 佐渡ヶ島, 小笠原諸島 (父島), 隠岐, 四国, 九州, 種子島, 屋久島, 奄美大島, 西表島, 南大東島, 北大東島 ; 台湾, 韓国, 中国, インド, 東洋区.

40. *Scopaeus virilis* Sharp チビヒメクビボソハネカクシ

記録産地：Sato (Watanabe, 1961 ; 澤田・渡辺, 1969).

分布地：本州, 伊豆諸島 (御蔵島, 八丈島), 隠岐, 四国, 四国沖ノ島, 種子島, 屋久島, 沖縄本島 ; 中国, 東洋区.

41. *Rugilus (Eurystilicus) rufescens* (Sharp) クビボソハネカクシ

記録産地：Kawada (Watanabe, 1961 ; 澤田・渡辺, 1969).

分布地：北海道, 本州, 伊豆諸島 (三宅島, 御蔵島, 八丈島), 隠岐, 四国, 九州, 対馬, 屋久島 ; 台湾, 韓国, 北朝鮮, 中国, ロシア, 東洋区.

42. *Rugilus (Rugilus) japonicus* Y. Watanabe ツマキクビボソハネカクシ

記録産地：Kawada, Kawaguchi (澤田・渡辺, 1969).

分布地：伊豆諸島 (三宅島, 御蔵島, 八丈島), 種子島, 屋久島, 奄美大島, 沖縄本島.

43. *Sunesta setiger* (Sharp) タチゲクビボソハネカクシ

記録産地：Kawada, near Akazawa (澤田・渡辺, 1969 : *Stilicopsis setigera* Sharp).

分布地：本州, 伊豆諸島 (三宅島, 御蔵島, 八丈島), 小笠原諸島 (父島), 四国, 九州, 対馬, 種子島, トカラ横当島, 奄美大島 ; 台湾, 韓国, タイ.

44. *Pinophilus lewisius* Sharp ルイスクビブトハネカクシ  
 記録産地：Kawada (Watanabe, 1961; 澤田・渡辺, 1969; *Pinophilus lewisi* Sharp).  
 分布地：本州, 伊豆諸島 (三宅島, 御蔵島, 八丈島), 四国, 九州, 対馬, 種子島, 屋久島; 台湾, 韓国.
45. *Oedechirus lewisius* Sharp クロバネアリガタハネカクシ  
 記録産地：Kawada (澤田・渡辺, 1969).  
 分布地：本州, 伊豆諸島 (三宅島, 御蔵島, 八丈島), 粟島, 隠岐, 四国, 九州, 対馬, 種子島, 屋久島, 沖縄本島; 韓国, 北朝鮮.

Subfamily Staphylininae Latreille ハネカクシ亜科

46. *Heterothopus cognatus* Sharp ホソチビツヤムナハネカクシ  
 記録産地：Sato, Kawada (Watanabe, 1961; 澤田・渡辺, 1969).  
 分布地：北海道, 本州, 伊豆諸島 (三宅島, 御蔵島, 八丈島), 粟島, 佐渡ヶ島, 四国, 九州, 下甕島, 屋久島; 韓国, 中国.
47. *Bisnius germanus* (Sharp) チャイロニセコガシラハネカクシ  
 記録産地：Sato, Kawada, near Miyogaiké (澤田・渡辺, 1969; *Philonthus germanus* Sharp).  
 分布地：本州, 伊豆諸島 (三宅島, 御蔵島, 八丈島), 隠岐, 四国, 九州, 下甕島, 屋久島, 奄美大島.
48. *Cafius (Pseudoremus) algarum* (Sharp) ヒメアバタウミベハネカクシ  
 記録産地：Sato (Watanabe, 1961; 澤田・渡辺, 1969).  
 分布地：本州, 伊豆諸島 (三宅島, 御蔵島, 八丈島), 佐渡ヶ島, 隠岐, 四国, 九州, 奄美大島; 韓国, 香港, 中国, ロシア.
49. *Cafius (Pseudoremus) histrio* (Sharp) ホソアバタウミベハネカクシ  
 記録産地：Sato (Watanabe, 1961; 澤田・渡辺, 1969).  
 分布地：北海道, 本州, 伊豆諸島 (三宅島, 御蔵島, 八丈島), 佐渡ヶ島, 四国, 種子島, 屋久島; 韓国, 北朝鮮, 香港, ロシア.
50. *Philonthus (Philonthus) microcephalus* Sharp アカヒラタコガシラハネカクシ  
 記録産地：Kawada (澤田・渡辺, 1969).  
 分布地：本州, 伊豆諸島 (御蔵島), 九州.
51. *Philonthus (Philonthus) tardus* Kraatz ヘリアカバコガシラハネカクシ  
 記録産地：Kawada (Watanabe, 1961); Sato, Kawada, near Akazawa (澤田・渡辺, 1969).  
 分布地：本州, 伊豆諸島 (三宅島, 御蔵島, 八丈島), 佐渡ヶ島, 隠岐, 四国, 小豆島, 九州, 対馬, 下甕島, 屋久島, 沖縄本島, 多良間島; 台湾, 中国, 西



インド，スリランカ．

52. *Quedius (Microsaurus) simulans* Sharp ナミツヤハネカクシ

記録産地：Sato, Kawada (澤田・渡辺，1969)．

分布地：北海道，礼文島，利尻島，本州，伊豆諸島（三宅島，御蔵島），佐渡ヶ島，小豆島，九州；韓国，中国．

53. *Creophilus maxillosus* (Linnaeus) オオハネカクシ

記録産地：Sato (渡辺・長谷川，1983)．

分布地：北海道，本州，伊豆諸島（御蔵島，八丈島），四国，九州，屋久島，奄美大島，沖縄本島，伊平屋島，石垣島，西表島；台湾，韓国，北朝鮮，中国，ロシア（シベリア），インド，ハワイ，欧州，北アフリカ，アメリカ．

54. *Megalinus suffusus* (Sharp) キバネナガハネカクシ

記録産地：Kawada (Watanabe, 1961)；Sato, Kawada (澤田・渡辺，1969)．

分布地：北海道，本州，伊豆諸島（大島，三宅島，御蔵島），四国，小豆島，九州，対馬，下甕島，屋久島；台湾，中国．

55. *Liotesba punctiventris* (Sharp) アカバツヤクビナガハネカクシ

記録産地：Kawada (澤田・渡辺，1969；*Megalinus punctiventris* Sharp)．

分布地：本州，伊豆諸島（御蔵島），四国，九州，対馬．

### 御蔵島のハネカクシ相

御蔵島は良く知られている様に有史以来噴火の記録が無く，島の多くの部分はシイ・ヒメユズリハ・ヤマモモ等の潤葉樹に覆われてジャングル状を呈し，畑作地や草原等の開けた環境は相対的に少ない．このため，これらの樹林は水源涵養林として保水の役を果たし，伊豆諸島の中では例外的に豊かな水量に恵まれた溪流が存在し，他の島では見られない変化に富んだ特異な環境を呈している．しかしながら，この様な豊かな環境を保持しているにも拘わらず，同島には長い間，船の接舷用棧橋が設置されていない等の交通の不便が災いして昆虫類の研究者や同好者が訪れることはなかった．このため神谷一男（1935）によるオニヤンマの記録以後，1959年に実施された東京都教育委員会による「伊豆諸島文化財総合調査」による迄昆虫類に関する記録は誠に微々たるもので，とりわけハネカクシに関する記録は皆無の状態であった．筆者は上記調査員として御蔵島に生息している昆虫類の調査にあたり，この折に採集したハネカクシと1967年に再度同島を訪れた際に採集したハネカクシを加えて23種のハネカクシを記録したが（Watanabe, 1961），これが同島産ハネカクシに関する最初の報告である．さらに，その後目録で示した様に筆者や若干の研究者および同好者によって33種が追加記録されて，現在まで同島からは56種（内1種の種名は同定未了）のハネカクシ科甲虫が記録されている．

御蔵島昆虫相に関しては既に多くの点で他の島とは異なった様相を呈することが指摘されているが(澤田・渡辺, 1969), ハネカクシ相についても同様な傾向が認められる。御蔵島から記録された種名の未同定種を除いた 55 種のハネカクシの中で, 伊豆諸島中で御蔵島のみから報告されている種は 17 種で, 同島産ハネカクシの 31.0%を占めている。ちなみに隣接の三宅島からは 73 種のハネカクシが報告されているが, これらの中で三宅島のみから発見されている種は 18 種で, 三宅島産ハネカクシの 24.7%に過ぎない。一方, 御蔵島産ハネカクシを生息環境別に見ると朽木中, 樹皮下, 落葉下およびキノコ等から採集された, いわゆる森林性種が同島産ハネカクシの半数以上を占めていることは, 御蔵島の豊かな森林環境の反映と見ることが出来る。さらに, 御蔵島ハネカクシ相で特筆される点は, ハーマンミズギワヨツメハネカクシと近年発見されたコジマハナムグリヨツメハネカクシおよびミクラジマハナムグリヨツメハネカクシの存在である。ハーマンミズギワヨツメハネカクシは北海道, 本州, 四国, 九州, 国外では韓国に分布していることが知られているが, 通常山地の溪流際の小石や堆積した落ち葉の下に生息している。この種が伊豆諸島中御蔵島のみから発見されたことは同島に溪流が存在していることと無縁ではない。一方, コジマハナムグリヨツメハネカクシとミクラジマハナムグリヨツメハネカクシは, 近年の日本学術振興会科学研究費補助金(24510333)に基づく調査で小島弘昭博士によって「御番の尾」および「乙女峠」から「黒崎高尾」にかけての地域に見られるオオシマザクラ, スダジイ, クロバイ, ヤマグルマ等の花から発見された。前者は外部形態や色彩等は奄美大島に分布しているアマミハナムグリヨツメハネカクシに類似しているが, 雄交尾器の形状はこの種よりは東京近郊の奥多摩地域から発見されたオクタマハナムグリヨツメハネカクシにより近縁の未記載種と判断され, 発見者の名前に因んでコジマハナムグリヨツメハネカクシと命名・記載された。一方, 後者も奄美大島に分布しているカナハナムグリヨツメハネカクシと外部形態および雄交尾器の形状が類似しているが, 前背板や翅鞘の表面構造および雄交尾器の形状が異なることで未記載種と判断され, 採集地の御蔵島に因んでミクラジマハナムグリヨツメハネカクシと命名・記載された。これらの 2 種を含めてハナムグリヨツメハネカクシ属の種は, 和名が示す様に通常は山地帯の花から発見されている。そして, 現在まで日本近海の海洋島からの記録は無く, このことは同じ訪花性のヒメハナカミキリの分布パターンとの共通性が指摘されている(渡辺, 2014)。この様に伊豆諸島から記録の無い種が御蔵島のみから発見されていることは, 御蔵島の地史と共に他の伊豆諸島に見られない同島の環境に起因するものと考えられ, 今後の更なる調査により新たな興味ある知見が得られるものと期待される。

## 謝辞

本稿執筆を慫慂の上, 原稿の送付など種々の面でご尽力頂いた小島弘昭博士(東京

農業大学) ならびに目録作成に際してデオキノコムシ亜科の種名並びに問題点についてご教示いただいた保科英人博士(福井大学)に心からの謝意を表す。また, 記録産地の確認のため文献照合などでお世話になった石川 忠博士(東京農業大学), 野村周平博士(国立科学博物館)および柴田泰利氏(町田市), 標本写真を撮影頂いた伊藤直哉氏(東京農業大学)にも厚く御礼申し上げる。

## 引用文献

- 小西正泰, 1951. 伊豆八丈島の昆虫地理学的考察. 日本生物地理学会会報: 13-15.
- 小西正泰・梅谷献二, 1954. 伊豆七島の昆虫相より見た食材性甲虫の分布に関する一考察. 日本昆虫学会第14回大会プログラム, 3.
- 榎原 寛・山迫淳介・滝 久智, 2015. オガサワラチャイロカミキリ幼虫の海水および真水下での生存能力. さやばねニューシリーズ, (18): 12-13.
- Nomura, S. & T. Komatsu, 2012. Two new subspecies of *Diartiger fossulatus* Sharp (Coleoptera, Staphylinidae, Pselaphinae) from Japan. *Esakia, Fukuoka*, (52): 9-15.
- Nomura, S., H. Kamezawa & S. Arai, 2013. A review of psalaphine beetles (Coleoptera, Staphylinidae) from the Izu-shoto Isls., Tokyo, Japan. *Elytra, Tokyo, New Series*, 3: 31-43.
- Sawada, H. & Y. Watanabe, 1960. Description of a new species of lucanid-beetles from Mikura Island in the Izu Islands, Japan. *J. agric. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku*, 6: 102.
- 澤田玄正・渡辺泰明, 1969. 御蔵島の昆虫相. 東京農業大学農学集報, 14: 1-48.
- 柴田泰利・丸山宗利(編集), 2013. 日本産ハネカクシ科総目録(昆虫綱: 甲虫目). 九州大学総合研究博物館研究報告, (11): 69-218.
- 梅谷献二, 1954. 伊豆七島における *Lamellicornia* の分布について. 虫報(日本昆虫研究会報告), (10): 17 pp., 3 pls.
- 梅谷献二, 1961. 伊豆七島におけるカミキリムシ科甲虫の分布. 昆虫, 29: 215-225.
- Watanabe, Y., 1961. The staphylinid-fauna of the middle and southern Izu Islands. *J. agric. Tokyo Nogyo Daigaku*, 6: 348-356.
- Watanabe, Y., 1962. Descriptions of a new genus and species of Omaliinae from the Izu Islands, Japan (Coleoptera, Staphylinidae). *J. agric. Sci. Tokyo Nogyo Daigaku*, 8: 77-80.
- Watanabe, Y., 1990. A taxonomic study on the subfamily Omaliinae from Japan (Coleoptera, Staphylinidae). *Mem. Tokyo Univ. Agric.*, 31: 55-391.
- Watanabe, Y., 2000. Occurrence of *Psephidonus harmani* Y. Watanabe (Coleoptera, Staphylinidae) on the Island of Mikurajima of the Izu Islands, central Japan. *Elytra, Tokyo*, 28: 54.

渡辺泰明, 2014. ヨツメハネカクシ亜科 Pp. 2-4. 山本周平, 日本のハネカクシ上科相解明にむけて (1): 日本産ハネカクシ科亜科別概観: 解明度・地域間比較・分布の特徴・生息の場所, そして未解決の諸問題. ハネカクシ談話会ニュース, 国立科学博物館, 筑波.

Watanabe, Y., 2015. Two new species of *Eusphalerum* (Coleoptera, Staphylinidae) from Mikura-jima Island of the Izu Islands off central Honshu, Japan. *Elytra, Tokyo, New Series*, 5: 17-22.

渡辺泰明・長谷川道明, 1983. 伊豆御蔵島から新記録のハネカクシ (ハネカクシ科分布資料 11). 甲虫ニュース, (62): 4.

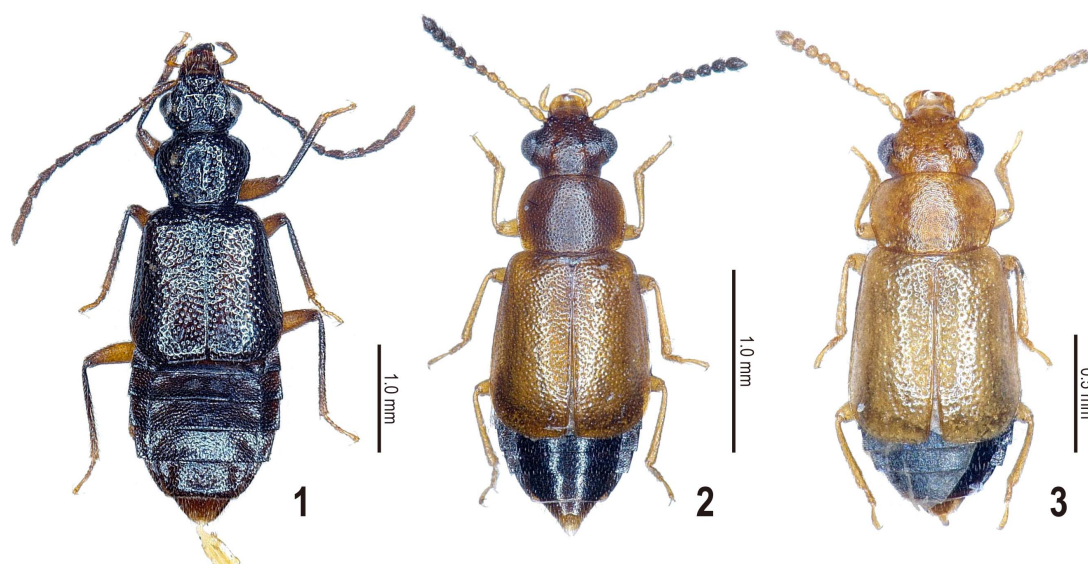


写真 1-3. 御蔵島産ヨツメハネカクシ亜科の 3 種.

1. *Geodromicus harmani* (Y. Watanabe) ハーマンミズギワヨツメハネカクシ
2. *Eusphalerum (Eusphalerum) kojimai* Y. Watanabe コジマハナムグリヨツメハネカクシ
3. *Eusphalerum (Eusphalerum) mikurajimaense* Y. Watanabe ミクラジマハナムグリヨツメハネカクシ